

あの日の頃 - 15

山川秀人

私が星美学園小学校に就職したのは、一九七七年(昭和五十二年)の四月でした。一九七六年には、ロッキード事件で田中元首相が逮捕され、一九七八年には、成田空港が問題を含みながら開港した年です。世の中は何にかと騒がしいのに、自分の生活は平穏な日々が続いていたように思います。そんな時期に教員生活の第一歩を四年 A 組の担任として歩み出したわけですが、右も左もさっぱりわからず、毎日、毎日何かを追われながら子供達と楽しく夢中で過ごしていました。その頃のことを思い出し、現在と比べながら、校舎のことや先生方のことなどを書いてみたいと思います。

学校は年々変わってきているのですが、私が入った頃は、とくに変わり目の様にも思います。一番良く覚えているのは、やはり屋上の音楽室です。現在の四階が屋上でその真中に、四角い部屋がピヨコンと有りました。中にはオルガンとバイオリンが並んでいました。雨の日には傘をさして行くのだと聞きましたが、一度もそんなことがないうちに、夏休みにはこわされ今の四階ができた様に思います。四階に、音楽室、図工室、図書館、宗教室ができたことで随分教室の変更があったのがこの頃でした。図工室は三階西側の、今は実習室になっている所でした。教室の前に黒い大きな真中でしなっている机が置いてあったのを覚えています。そしてその教室の雑然としていたことも。元の図書館の所が第二理科室となり、今では情報教室となってパソコンが入っています。二階の西側二教室が合同教室となって、宗教発表会や学年保護者会、学年集会など多目的に使用されるようになりました。その隣にはお聖堂もできています。

変わり目といえば次の様なことが始まった年でもありました。まず、四年生の海浜学校の場所が今の千葉県天津小湊に変わったのです。思い出すのは、就職してすぐの四月二日に、教師全員で下見に行くことになり、東京駅に集合することになっていました。私はその頃、三鷹に住み変えていたので、すっかり東京駅までの時間の予測をまちがえてしまい、集合時間に間に合いそうもなくなり、その電車がまた何かで遅れてしまい、東京駅の集合場所に着いた時には、そこにはだれもいませんでした。さあ、あわてておぼろげに覚えていた列車に、ホームを駆け上がるとび乗ったら、ベルがなってすぐ発車。列車の中をばつも悪く先生方をさがしたのです。先生方を見つけた時の皆の白い目は、今でも忘れられません。新人で二日目に大失敗、その日から、今年の新人は、と思われたのです。

北軽サマースクールが始まったのもこの年の夏からです。六年 A 組ひとクラスを勉強の為に北軽井沢にある、目黒区の施設につれていくというものです。これは今も続き、今年は私のクラスの子供達をつれて行きました。この年は、大森先生のクラスで、私も引率として行き、子供と共に教

師として大切なことを学ばせてもらいました。山の中の合宿なので何もなく、フィールドワークとして道の無い所を歩いて道にまよったり、廃虚となった家の庭を通りぬけたり、クロスカントリーと称して「あの丘の上の木にさわってもどれ。」などと言って、野原の中に走り込ませたりしていました。子供達も、今の子と比べてたくましいのか、平気で草むらの中に突こんで行きもどってきていました。男の先生達だけの中で、厳しくも楽しい合宿でした。

水泳教室を今は、平町にあるアスリエスポーツクラブのプールを使って開いていますが、その頃は砧にある厚生年金のプールまで出かけていました。佐々木さんの運転するスクールバスで出かけたり、路線バスに乗っていったり、ほとんど一日がかりの水泳教室でした。その頃は一年から六年まで男女別クラスでした。一九八四年に三年までが共学になりました。うわさでは、私が入るちょっと前まで階段が男用、女用にわかれていたなどと聞いて、びっくりしたことも覚えています。本当だったのでしょうか。

先生方にはどんな方がいたか、思いつくまま書いてみたいと思います。Sr.杉村校長様には、教師としての心がまえや、先を見通した教育を心がけることなど基本的なことを教えていただき教師の土台ができた様に思います。そして教頭の田中先生には授業の仕方から、テニスの仕方、お酒の飲み方まで教えていただきました。とくに国語の授業を見せていただき、今でも授業のイメージがしっかりと残っているぐらい素晴らしいものでした。私は図々しかったのか、色々な先生の授業を見せていただき、勉強させてもらいました。理科では石川先生が授業をしていました。見に行くたびに教科書にないような実験をやっていました。砂糖をとかしてべっこうあめを作ったり、細いガラス管を伸ばしに伸ばして水の膨張を調べたり、実に楽しそうでした。聞くと実験の理由など色々説明してくれましたが、どちらかという自分が楽しんでいたのではないのでしょうか。三年生を横尾先生が担任していらして、あぶら菜の手作りのスライドで授業をしているのを見せてくださいました。子供によくわかるようにという熱心な姿勢はその頃からのものでした。大森先生はとなりの六Aの担任で「いいよ、いつでも見にいらっしゃい。」とってください、行くたびに楽しい話、その頃から少々脱線していましたが、授業を転開してくださり良い勉強になりました。同学年の担任だった小野先生の素晴らしい国語の授業もを見せていただきました。こうやるのかと思って良い刺激を受けました。山中先生の音楽もを見せていただきました。やさしい中に強く音楽を愛している気持ちが伝わるような授業で、子供達にもその心はしっかり伝わっているようでした。阿部先生や富田先生、久田先生や石松先生、ずい分お世話になりました。大森先生、新井先生、林田先生、石川先生、石渡先生方はまだまだ若く、土曜日には校庭でテニスをしたり、卓球やバレーボールをしたり、色々なゲームを楽しくやりました。とくに林田先生はすごい運動能力の持ち主で、何をやっても勝てなかったことを覚えています。そういえば、石渡先生は同じ四年生を担任していらしたので、よく遊びにつれていってくださり、気持ち良くなるとその頃からよく踊っていました。

入った時から変わらない星美の特徴が有ります。卒業生もおぼえていると思いますが、休み時

間、先生と子供達一緒に楽しく遊んでいることです。勉強も遊びも子供と共にいる。これはこれからも大事なことでずうっと続いていくことと思います。

学校に入って不思議に感じた事もありました。まだその頃は帰りの挨拶が「ごきげんよう」でした。帰りに先生方皆さんが使うのでびっくりしたものでした。またシスター方の生活も、今では変わって来ていらっしゃると思いますが、昼食を一緒に食べなかったり、必ず二人以上で出かけたり、知らない事も多く不思議に思うことがありました。

時とともに変わっている星美も、今年度、校長先生も変わり今また一つの変り目に来ているのかも知れません。小学校の時の色々な思い出が浮かんできたら、ぜひ学校に顔を出し思いを新たにしてみましょう。先生方も、卒業生の顔がなつかしい色々な思い出を運んできてくれるので楽しみにしています。では、また、星美学園小学校で。

【同窓会報、第15号 - 平成8年4月1日発行 - から転載】